管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第27週(6月30日~7月6日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

| 感染症の種類 | 県北保健所管内(平戸市、松浦市、佐々町) | | | 長崎県 | 全国 |
|----------------|----------------------|------|-------|------|------|
| | 25週 | 26週 | 27週 | 27週 | 27週 |
| インフルエンザ | 0 | 0 | 0 | 0.37 | 0.28 |
| 新型コロナウイルス感染症 | 1.00 | 4.00 | 4.33 | 2.24 | 1.97 |
| RSウイルス感染症 | 0 | 6.00 | 10.00 | 0.74 | 0.35 |
| 咽頭結膜熱 | 2.00 | 2.00 | ●5.00 | 0.71 | 0.67 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 5.00 | 5.00 | 2.50 | 3.19 | 2.36 |
| 感染性胃腸炎 | 3.50 | 2.50 | 3.00 | 3.32 | 5.44 |
| 水 痘 | 0 | 0 | ▲1.00 | 0.52 | 0.40 |
| 手足口病 | 0 | 0 | 0 | 0.39 | 0.52 |
| 伝染性紅斑 | 0 | 0 | 0 | 1.42 | 2.32 |
| 突発性発疹 | 0.50 | 1.00 | 0.50 | 0.48 | 0.37 |
| ヘルパンギーナ | 2.00 | 3.50 | 4.50 | 5.06 | 1.46 |
| 流行性耳下腺炎 | 0 | 0 | 0 | 0.03 | 0.08 |
| 急性出血性結膜炎 | | | | 0.63 | 0.02 |
| 流行性角結膜炎 | | | | 2.75 | 0.90 |
| 細菌性髄膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0.08 | 0.02 |
| 無菌性髄膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0.17 | 0.07 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0.92 | 0.75 |
| クラミジア肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.01 |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.03 |
| | | | | | |

| 急性呼吸器感染症(ARI) | 38.67 | 44.67 | 44.00 | 56.06 | 52.71 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】

百日咳の報告が多くなっています。

百日咳は、主に百日咳菌の感染によっておこるけいれん性の咳発作を特徴とする気道感染症です。 潜伏期は通常5~10日で、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。夜間の咳発作が多いこと も特徴で、回復までに2~3か月かかることもあります。また、乳児では、肺炎、脳症を合併し、重症化することもあります。 2025年第27週には34件の報告があり、年代別では、10歳未満(14人)および10代(14人)が多くなっています。ま た、2025年第27週までの416件の報告においても、10代(210件、50%)、10歳未満(109件、26%)が多く、全体の 約8割を占めています。感染経路は飛沫感染ですので、咳エチケット、手洗い、手指消毒で予防に努めましょう。

マダニが媒介する感染症に注意しましょう 【トピックス】

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほ か、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」を媒介します。これらの感染症の報告数は、ダニの活動が活発になる4月頃から増加します。

マダニ類が媒介するSFTSは、発熱、消化器症状が主な症状で、重症化して死亡することもあります。県内では2025年 第27週までに8件、日本紅斑熱は11件の報告があがっています。

マダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴 を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等 に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。ま た、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状 況などをできるだけ詳細に説明しましょう。